

令和4年度 図書館利用者懇談会 ～各館で出た図書館全体に関わる質問～

<p>【対応状況・凡例】</p> <p>◎ 現在対応済みの項目</p> <p>○ 早急に対応を行う項目</p> <p>□ 施策・事業を実施していく中で取り組むまたは検討する項目</p> <p>— 対応が困難な項目</p> <p>★ その他、上記以外のもの</p>

番号	利用者からの意見・要望の概要	図書館の考え方	対応状況	質問が出た館
1	専門員館としてレファレンスをはじめ頼りになる館が、今後指定管理になるのは不安である。直営館として残してほしい。	練馬図書館については、老朽化している施設の大規模改修工事後に指定管理者制度を導入することとしています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大等の影響に伴い、現在工事時期が未定となっています。	□	練馬
2	学校で人気のある本の情報を展示してほしい。子どもたちにどんな本が人気なのか知りたい。	関町図書館では、ティーンズコーナー内に石神井西中学校生徒の活動成果や同校教職員から青少年に向けた情報を展示する「石神井西中学校連携コーナー」を設置しています。このコーナーでは、生徒が授業の一環として作成し地域に情報を発信するもの、図書委員や、教職員のおすすめ図書の紹介、生徒や教職員に人気の図書（ベストリーダー）などを紹介しています。また区立図書館各館では、学校訪問や年1回開催される小中学校連絡協議会等を通じて、学校の状況を把握するよう努めています。	◎	練馬
3	地域館が主体になってイベントを行うのは良いが、区立図書館全体が連携したイベントを行って欲しい。先日石神井図書館で行われた「うちの子もしかして…」というイベントも一部の館での実施だったことが気になる。サテライト会場であれば、他の館でもできたと思う。練馬区立図書館全体の連携を考えて欲しい。光が丘図書館の利用者懇談会でも発言しようと思っている。	図書館が行う催しは、各館の地域の方々の参加を目当てに実施していましたが、コロナ禍以降、非接触型の対応や、国のDX推進により、通信を用いたイベント実施が一つのスタイルとなりつつあります。今後、より効果的・効率的な事業実施を検討してまいります。	□	石神井
4	広報チラシ等の紙ベースと、ネットの二本立てで情報を発信してほしい。年配者はスマホ、パソコンとも操作できない方々が多いので、そういう方々が情報から取り残されないような配慮が必要だが、電子書籍貸出しも近い将来あると思うので、そのための準備も必要と思う。	今後、積極的な情報発信に努めてまいります。また、図書館でもスマホ教室を実施する等、情報格差の是正に努めてまいります。	□	大泉

5	速やかな返却を促すため区立施設にブックポストを設置してはどうか。	区では、図書館を概ね生活圏半径1km以内に1か所整備することとし、計画的に12館と1分室を設置してまいりました。あわせて、図書館が近隣にない地域におきましては、図書館サービス向上のため、図書館ホームページなどで予約された本、CDの受取・返却ができる図書館資料受取窓口を、区立施設や駅の近くを中心に、現在6か所設置しています。 多くの方が利用する区立施設にブックポストを設置することは、図書館サービスのさらなる向上につながるものと区でも認識しております。 今後、いただいたご意見を参考に、より利用しやすい図書館となるよう検討してまいります。	<input type="checkbox"/>	関町
6	新刊本の予約待ち期間が長すぎる。話題の本は貸し出さず館内で閲覧できるようにしてほしい。	民業圧迫防止の観点から、一定数以上の購入はしておりません。 また、話題の本の館内閲覧については、雑誌や新聞のように迅速性が求められる類ではないことから、貸出対応としております。	<input type="checkbox"/>	関町
7	利用者懇談会の回数を増やして欲しい。	懇談会の実施方法については、引き続き検討していきます。	<input type="checkbox"/>	関町
8	「これらの図書館構想の概要」の作成にあたり、大人の意見だけでなく、子どもの意見を取り入れてみてはどうか？	「これからの図書館構想」の概要版の作成は予定しておりません。構想の実現に当たっては、利用者アンケート等により子どもの意見も取り入れ、子どもたちが本に親しみ、夢や希望を持ち、未来を切り開く力を育める図書館としていきます。	★	小竹
9	年をとってきたが、世の中の新しい動きには取り残されたくないと思っている。練馬区立図書館では、電子書籍やオーディオブックを入れる予定はあるか？	次期システム改修において、電子書籍を導入予定です。オーディオブックの導入予定はございませんが、電子書籍に読み上げ機能がございます。	<input type="checkbox"/>	小竹
10	古地図や写真をデジタルアーカイブ化することはできないか？例えば、千川上水が小竹町にあったことなど、今の若い人は知らないのではないか。	古地図や写真などの貴重資料については、関係部署と連携し、デジタルアーカイブ化を進めていきます。 例えば写真であれば、区政資料公開用ウェブサイト「練馬わがまち資料館」(https://www.nerima-archives.jp/)で公開（情報公開課所管）しており、図書館に寄贈いただいた写真についても、当該サイトによりデジタルアーカイブ化を進めています。	<input type="checkbox"/>	小竹
11	練馬区民の中には、歴史的に価値ある資料を持っている人がいるのではないかと思います。地域の中にそういった資料を保管できる場所があれば、貴重な資料が自然と集まってくるのでは？	地域資料の収集については、今後、調査・検討してまいります。	<input type="checkbox"/>	小竹

12	図書館ホームページを視覚的に見やすく改善してほしい。例えば、ホームページのトップを各館ごとのタブで区切ると、各館の情報にアクセスしやすくなる。	次期システム改修において、より効果的なHPの作成を検討してまいります。	<input type="checkbox"/>	南大泉
13	イベントへの参加申し込みをWeb上から出来るようにしてほしい。	次期システム改修において、導入を検討してまいります。	<input type="checkbox"/>	南大泉
14	イベント等の開催情報をLINE等を使って通知してほしい。	次期システム改修において、SNSを利用した積極的な情報発信を検討してまいります。	<input type="checkbox"/>	南大泉
15	LINEやチャットでレファレンスが出るようにしてほしい。	早期の導入は困難ですが、他自治体の状況などを踏まえ、調査・研究してまいります。	—	南大泉
16	ホームページのトップを、よく使うボタンのみが表示されたシンプルなものにしてほしい。	次期システム改修において、より効果的なHPの作成を検討してまいります。	<input type="checkbox"/>	南大泉
17	子育て中の親子や知的障害等の障害のある人にとっては、話してはいけない静かな空間はハードルが高い。図書館の中に、声を出してもいい部屋や時間帯を作してほしい。	子育て中の親子や障害のある方にも気兼ねなく図書館をご利用いただける環境を整備することは、重要であると考えていますが、設備面での対応や、利用時間を区切ってご利用いただくことをすぐに行うことは困難な状況です。今後の大規模改修に際しての検討事項とします。	<input type="checkbox"/>	春日町
18	遠慮せずにおしゃべりをしながら本の貸出ができるような屋外の図書館バスがあったらいい。	図書館バスと同様のサービスとして移動図書館があります。移動図書館は、従前区内の図書館が少ない時に運行していましたが、各地域への図書館整備に伴う利用者の減少や移動車両の老朽化などにより、平成17年3月に廃止となりました。現時点で、移動図書館や図書館バスを再開することは考えておりません。	—	春日町